

第5章

安全・安心で快適な 暮らしが持続する宮古^{みや〜く}

1 安全で安心な 島づくりの推進



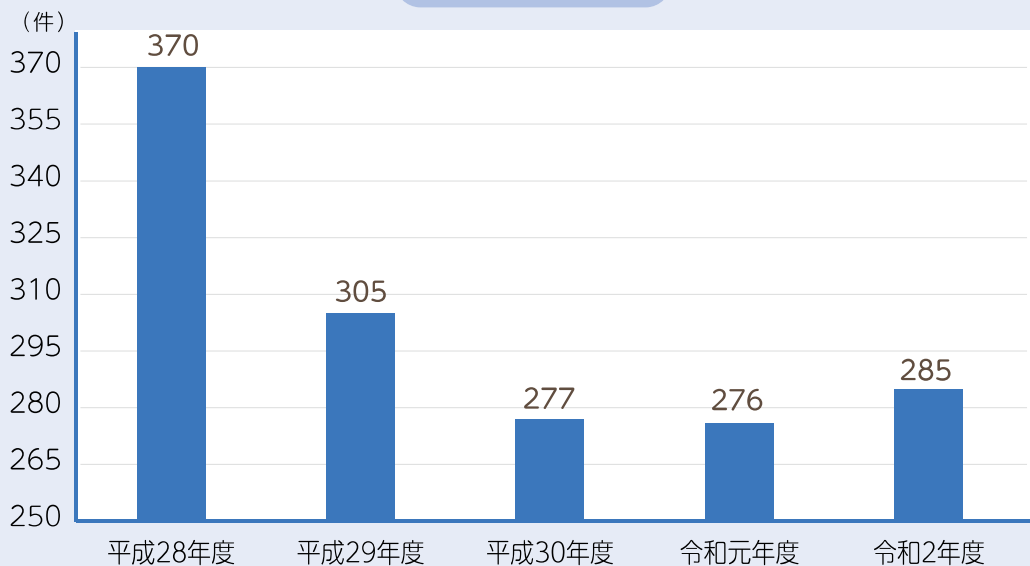
■ 現状と課題

▶ 学校、警察、民間団体、事業者、地域住民、行政が一体となった防犯パトロールや防犯灯の設置により、本市の犯罪件数は減少していましたが、令和2年度には微増しています。そのため警察や防犯協会等の関係機関と一層の連携強化を図り、犯罪の未然防止、防犯設備の設置などを推進する必要があります。



宮古島市海浜・海域への暴力団等介入阻止同盟結成式

刑法犯件数





■ 施策の基本方針 1

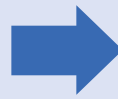
身近な犯罪を防止するため、防犯意識の向上を図るとともに、市民や観光客など、全ての人が安全で安心できる環境づくりに取り組みます。

● 目標項目 ●

刑法犯件数

令和2年度

285件



令和8年度

0件

● 施策一覧 ●

- ① 防犯団体との連携強化及び地域安全ボランティアによる犯罪防止の推進
- ② 市民生活の安全確保に向けた、関係機関との協働による防犯カメラなど防犯設備の設置
- ③ 車や自転車の施錠に対する注意喚起の徹底
- ④ 広報誌を活用した自転車防犯登録の周知



防犯への注意喚起

■ 現状と課題 2

▶本市における交通事故件数は減少傾向にあります。一方で、高齢化社会が進行するなか、本市の70歳以上の免許保有率は全体の15.1%と県内でも高い水準となっており、高齢者の交通事故防止対策が大きな課題となっています。今後も飲酒運転の根絶や交通ルールの遵守とともに、施設の整備や高齢者の免許自主返納を促進する取り組みが必要です。

■ 施策の基本方針



交通死亡事故に繋がる飲酒運転の根絶と基本的な交通ルール遵守を呼びかけ、交通事故の減少、防止に取り組みます。

● 目標項目 ●

交通事故件数

令和2年度

70件



令和8年度

0件

● 施策一覧 ●

- ① 飲酒運転撲滅に向けた取り組みの強化
- ② 子どもや高齢者に見合った交通安全教育の推進
- ③ 交通ルール遵守に向けた交通安全運動の推進
- ④ 交通事故相談窓口の紹介や交通遺児に対する支援活動、交通事故被害者救済の充実
- ⑤ 通学路危険箇所の調査による交通安全施設等の早期対応
- ⑥ 高齢者の自主免許返納に向けた取り組みや返納後の生活環境、交通体系づくりの推進

■ 現状と課題 3

▶近年、多種多様な海洋性レクリエーションの増加により、観光客の水難事故が多発しています。これまで水難事故防止推進協議会を中心として、各種パトロールや海浜への注意喚起看板の設置、救命救急の普及により水難事故防止に向けた取り組みを実施していますが、水難事故の発生が後を絶たないことから、今後も事故防止に向けた、訓練の充実や看板設置による普及活動に取り組む必要があります。

■ 施策の基本方針



宮古島市水難事故防止推進協議会を中心に、水難事故防止に向けて取り組みます。

● 目標項目 ●

水難事故件数

令和2年度

12件



令和8年度

0件

● 施策一覧 ●

- ①水難事故防止に係る指導及び調査・訓練の実施、緊急連絡体制の充実
- ②多言語版の看板設置の推進
- ③水難事故防止の普及啓発

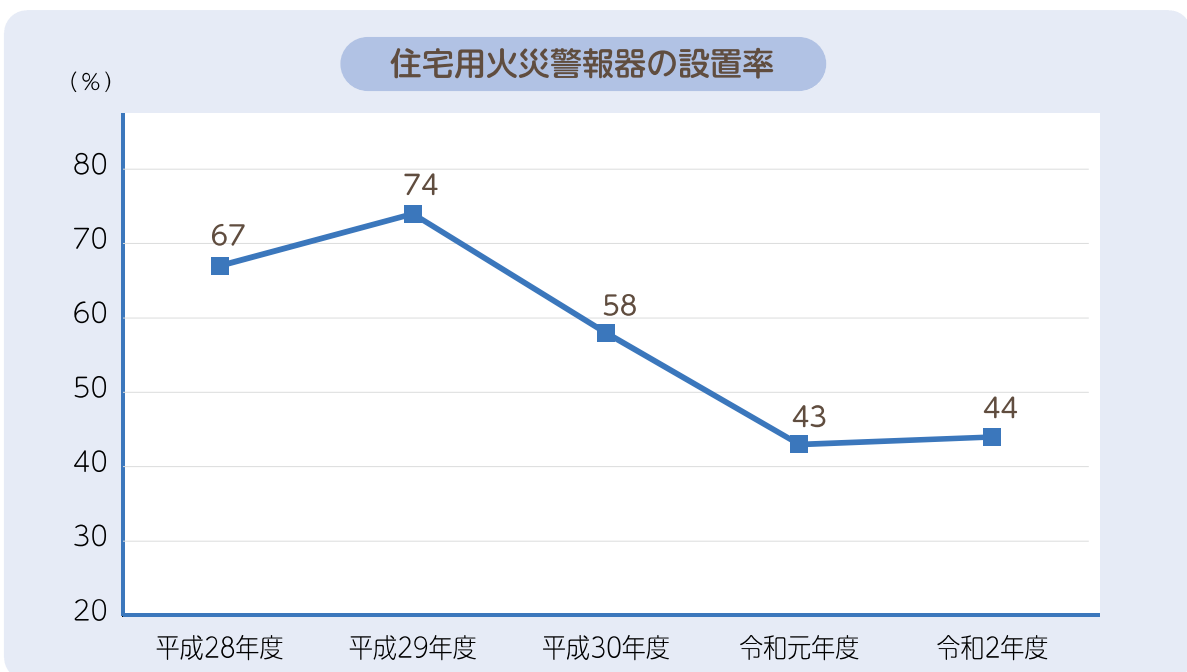
用語解説

水難事故防止推進協議会 市や宮古島警察署、宮古島海上保安部などで構成されている団体に水難事故の防止に向けたパトロール等を実施している

■ 現状と課題 4

▶ 令和元年に開催された総合防災訓練では100を超える関係機関が参加するなど、災害対応に向けた連携が図られています。その一方で、高齢者や観光客の増加に伴い各種事故が多発していることから、各機関との一層の連携強化や消防設備の充実が必要です。

▶ 住宅での火災をいち早く知らせる住宅用火災警報器は、依然として設置義務に対する理解が少ないことから、今後も設置率向上のため、広報・啓発活動や支援に取り組むことが必要です。



消防団の活動風景

用語解説

消防水利 消防車両など消防活動を行う際に消防用水を供給する施設。消火栓など



■ 施策の基本方針 1

災害に即時対応できる安全で安心な島づくりに向け取り組みます。

● 目標項目 ●

消防水利充足率



● 施策一覧 ●

- ① 火災・事故・災害の対応へ向けた消防職員、消防団員の連携強化
- ② 消防水利の設置による消防設備の充実



■ 施策の基本方針 2

市内全域、全ての住宅への住宅用火災警報器設置に向けて取り組みます。

● 目標項目 ●

住宅用火災警報器の設置率



● 施策一覧 ●

- ① 住宅用火災警報器設置に対する啓発・広報活動の充実
- ② 高齢者宅への住宅用火災警報器の設置サポート

2

災害に強い島づくりの推進



■ 現状と課題

▶ 災害の発生は予測困難なことから、防災意識の向上に取り組んでいます。本市の自主防災組織は3団体と少ない状況にあります。そのため行政だけでなく、市民や事業者なども一体となり、自助・共助・公助による防災への取り組みが必要です。

▶ 本市では、平成30年に災害時避難行動要支援者避難支援計画を策定し、災害時における要支援者の把握に取り組んでいます。今後も支援や医療が必要な避難者に対し、適切な対応が出来る体制構築が必要です。

▶ 本市では、これまで屋外スピーカーや登録制メールなどを活用し、防災情報の伝達に取り組んでいます。スピーカーの不感地帯があることや登録制メールの利用者が少ない等の課題があります。今後は、SNSの活用による防災情報システムの充実や緊急支援物資の適正管理に取り組む必要があります。

▶ 平成15年に本市へ襲来した台風14号は、交通等のライフラインに甚大な被害をもたらしました。そのため災害時の交通機能の確保に向けて、電線類の地中化を推進するとともに、公営住宅や港における耐震化を進める必要があります。

用語解説

自主防災組織 消防車両など消防活動を行う際に消防用水を供給する施設。消火栓など

災害時における自助・共助・公助
自助：住民・企業等が自らを守るために備えること
共助：地域が一丸となって助け合うこと
公助：行政が担う総合的な防災対策



■ 施策の基本方針 1

市民、事業者、地域団体、行政など、本市に関わる全ての人々が協働し、自助・共助・公助を基本とした安全・安心な島づくりを推進します。

● 目標項目 ●

自主防災組織の結成



● 施策一覧 ●

- ① 地域住民による自主防災組織の整備・育成・強化

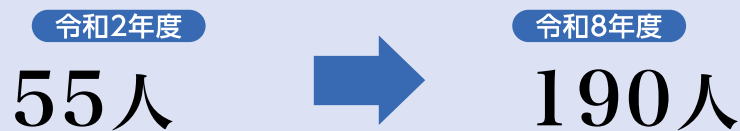


■ 施策の基本方針 2

災害時における要支援者及び医療が必要な避難者に対し迅速な対応が出来る体制づくりに取り組みます。

● 目標項目 ●

福祉・医療等災害時に対応出来る人材の育成



● 施策一覧 ●

- ① 福祉避難所の設置数の増加
- ② 避難行動要支援者の状況把握に向けた仕組みづくり
- ③ 救護避難所設置時の連絡調整及び避難所運営の円滑化

■ 施策の基本方針 3

市民や、島を訪れる方々の災害時における生命、身体及び財産が保護できるよう、防災体制を強化します。

●目標項目●

防災情報システムの登録人数



●施策一覧●

- ①防災公式SNS活用の周知及び利用促進による防災情報システムの充実
- ②備蓄管理のシステム化による緊急支援物資の確保及び適正管理



防災情報システム



平成 30 年 7 月に発生した台風 8 号の被害

用語解説

防災公式SNS 防災情報や避難情報などの防災に関する情報を発信する公式SNS
 Twitter公式アカウント:宮古島市防災(@miyakojimacity)
 宮古島市公式ラインQRコード



【宮古島市公式ライン】

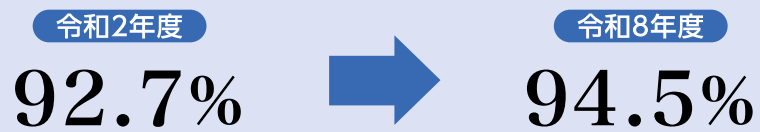


■ 施策の基本方針 4

交通機能の確保や港の耐震化を図り、防災体制を強化します。

● 目標項目 ●

防災体制強化に関する施設の整備割合



● 施策一覧 ●

- ① 災害時のライフライン確保に向けた電線類地中化の推進
- ② 公営住宅における新耐震設計適合住宅率の向上
- ③ 防災拠点となる緊急物資の保管・備蓄施設および多目的利用が可能なシンボル緑地の整備



沖縄県総合防災訓練

用語解説

シンボル緑地 港湾内の中心となる緑地で、地域住民の交流のための「ひろば」機能などを有する港湾のシンボルとなる場所

3 交通ネットワークの機能向上



■ 現状と課題

▶本市では生活バス路線として7路線が運行しており、自家用車を持たない交通弱者の移動手段として利用されていますが、社会状況や市民のニーズに合わせた路線の再編や新しい路線の設置など、公共交通の利便性向上における取り組みが必要です。

▶離島航路の島尻-大神間は、依然として独自での航路の維持・確保が困難な状況となっています。今後も住民の移動および物資輸送等の観点から、航路の確保・維持に向けた支援が必要です。



大神島航路

市内バスの利用者数



用語解説

MaaS(マース) 鉄道、バス、飛行機、フェリーなど色々なモビリティサービス（交通手段）がある中で、それらを1つサービス上に統合し、より便利な移動を実現する仕組みのこと。MaaS=Mobility as a Service の略



■ 施策の基本方針 1

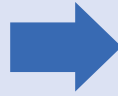
市民・観光客などすべての利用者の利便性向上へ向けた交通ネットワークの形成に取り組みます。

● 目標項目 ●

利便性向上に資する新たなバス路線の設置

令和2年度

0路線



令和8年度

1路線

● 施策一覧 ●

- ① 利用者のニーズや利便性の高い地域公共交通の構築
- ② 複数の公共交通や多様なサービスの連携 (MaaS事業等) による公共交通の利用促進

■ 施策の基本方針 2



宮古島と大神島を結ぶ唯一の定期海上公共交通機関を確保・維持し、大神島での生活維持と地域振興を図ります。

● 目標項目 ●

運行回数の確保 (1日当たり)

令和2年度

4往復



令和8年度

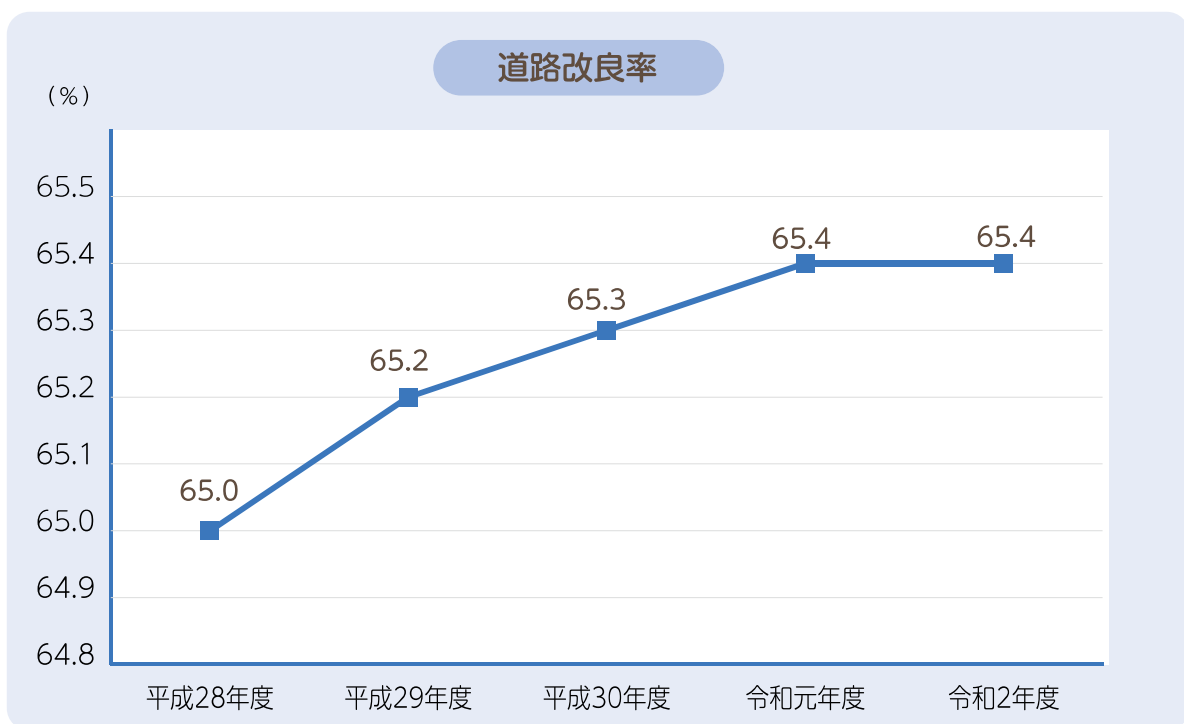
4往復

● 施策一覧 ●

- ① 離島船舶航路の維持に向けた支援の強化
- ② バリアフリーかつ住民生活に即した船舶の確保

■ 現状と課題 2

▶ 誰にでも優しい道づくりのため、行政と各地域づくり協議会等の協働により、道路清掃に取り組んでいます。一方で、本市の市道本数は1,557本と県内で最多となっており、管理が不十分な箇所があることなどから、今後も利用環境の改善に向けた整備と維持管理が必要です。また、歩道を有していない道路や幅員の狭い道路の拡幅等が必要です。



未整備の道路



整備された道路

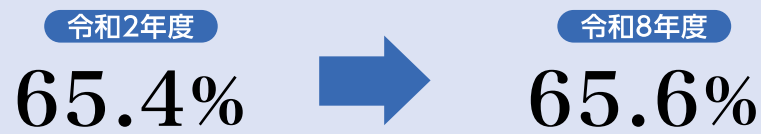


■ 施策の基本方針

誰にでも優しい道づくりを基本に、既存道路の改良や歩行環境の改善を図り、市民にとって快適で利便性のある道路整備と効率的な維持管理に取り組みます。

● 目標項目 ●

誰にでも優しい道づくり（道路改良率の向上）



● 施策一覧 ●

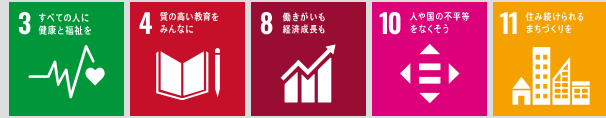
- ① 交通ネットワークや歩行空間の機能向上に向けた計画的な道路整備の推進
- ② 転落防護柵・ガードレールの補修等による道路環境の維持、改善



池間大橋

4

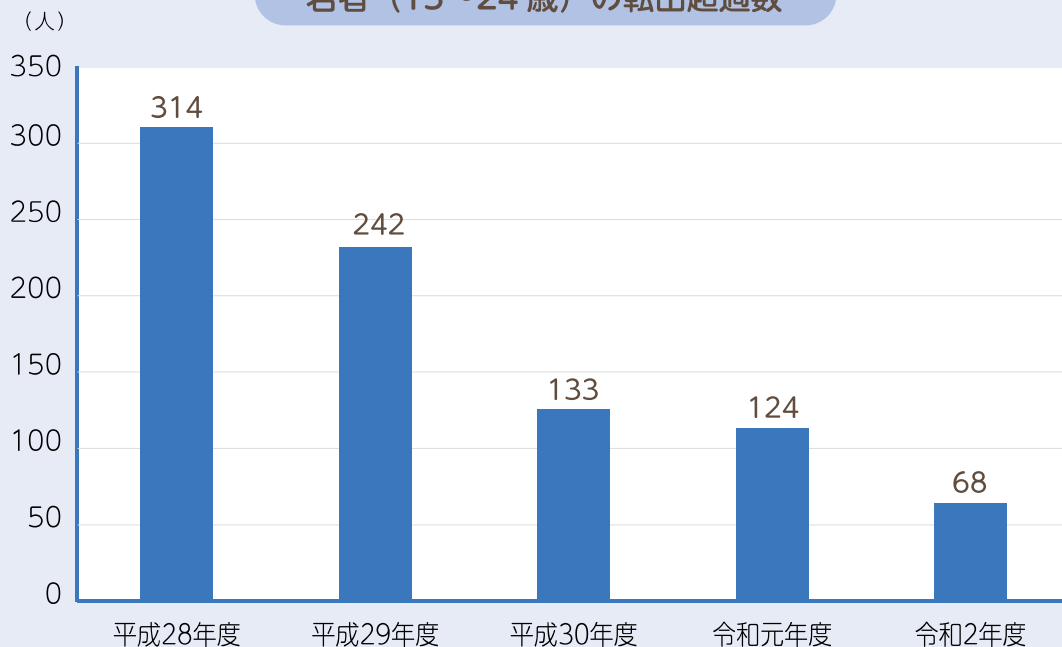
魅力を感じることができる まちづくりの推進

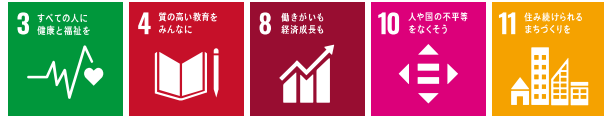


■ 現状と課題

▶本市の人口は、令和2年国勢調査では52,931人となっており、昭和55年以来40年ぶりに増加に転じています。一方で若者の転出や少子高齢化による地域コミュニティの衰退等により、地域活動を支える担い手不足が続いています。今後も雇用の場の創出や定住の促進、住居、医療など総合的な暮らしの快適性・利便性の向上など、魅力あるまちづくりが必要です。

若者（15～24歳）の転出超過数





■ 施策の基本方針

雇用の場の創出や定住促進を図り、住居、医療など総合的な暮らしの快適性・利便性の向上に向け、魅力あるまちづくりを推進します。

● 目標項目 ●

若者（15～24歳）の転出超過数の縮小

令和2年度

68人



令和8年度

61人

● 施策一覧 ●

- ① 交通、産業振興、生活環境、教育・文化、医療・福祉等の分野における条件整備による定住化の推進
- ② 若者を中心とした人口流出の抑制



大神島

5

快適な居住環境の形成



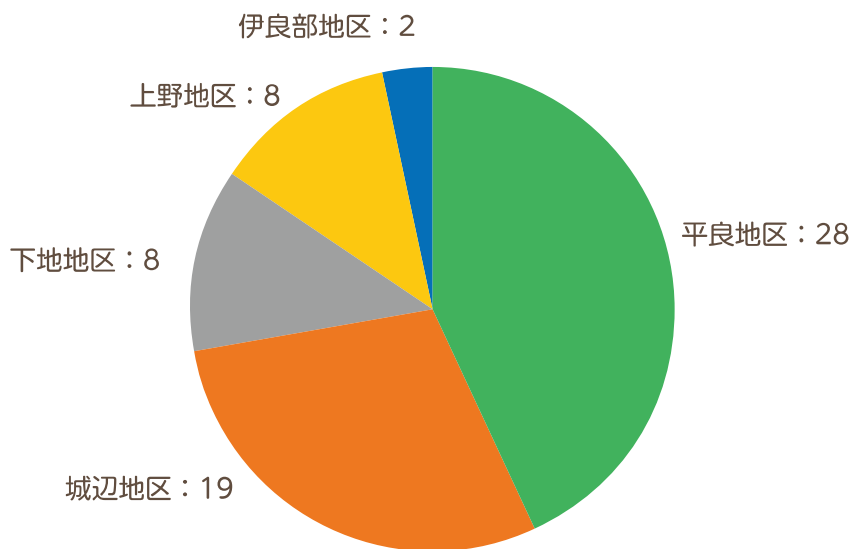
5-1 快適なまちづくり

■ 現状と課題

▶本市では、現在486戸の空家が確認されており、空家の専門的な相談に対応するため、専門士業団体やシルバー人材センターと協定を締結し、地域資源として良好な空家の再生支援に取り組んでいます。今後は空家の利活用に向け、地域交流・活性化・福祉サービスの拠点など、地域貢献の施設として活用するとともに周辺環境に悪影響を及ぼしかねない空き家については、所有者への指導を行う必要があります。

空家の改善件数

(件)



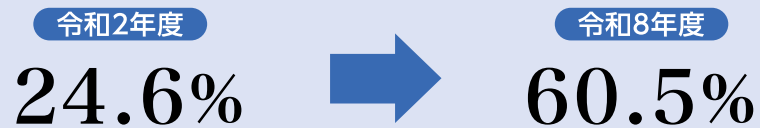


■ 施策の基本方針

空家所有者や地域をはじめ、多様な主体との相互連携による利用可能な空家を地域資源として活用を図り、周辺環境に悪影響を及ぼす管理不全な空家について指導・勧告を行うなど、総合的な空家対策を図ります。

● 目標項目 ●

特定空家等戸数の対策済（除去・改善、利活用等）割合



● 施策一覧 ●

- ①産業振興や地域コミュニティ拠点としての空家等の有効活用
- ②所有者への指導・勧告・命令の実施による空屋の改善



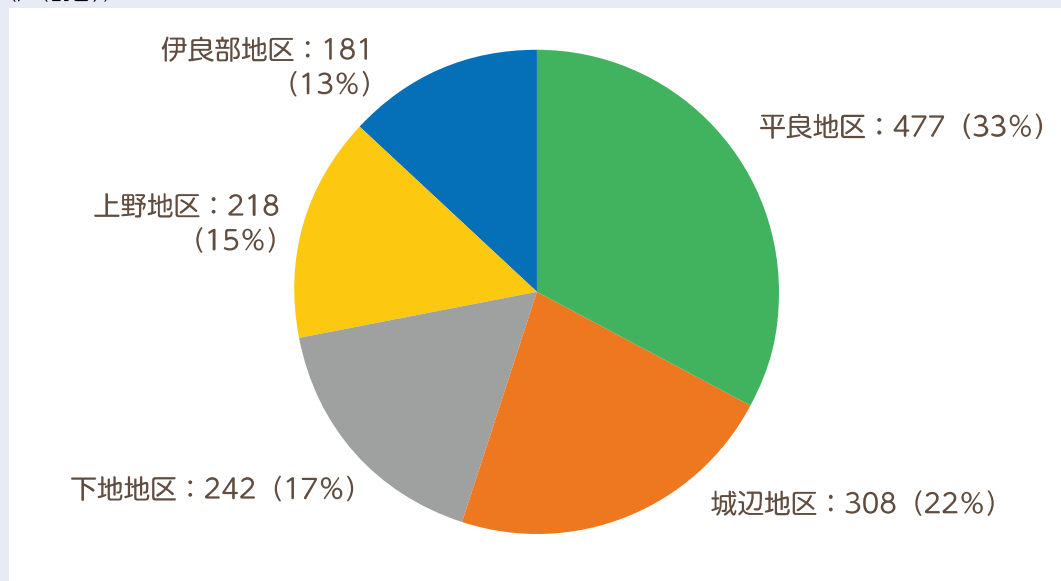
危険な空き家

■ 現状と課題 2

▶市営住宅はこれまで78箇所建設されていますが、築20年以上経過している住宅も多く老朽化が課題となっています。今後は老朽化の対応に向けた計画的な整備や長寿命化が必要です。

市営住宅の地区別戸数

(戸割合)



老朽化した公営住宅



建替えられた公営住宅

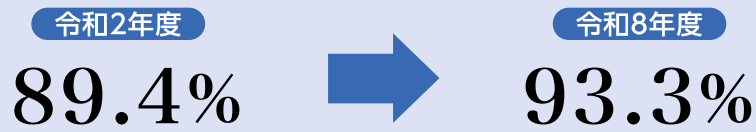


■ 施策の基本方針

社会状況や市民の住宅ニーズを把握し、既存の市営住宅の計画的な整備（建替・改善・改修）や長寿命化を進め、より快適な住環境を整えます。

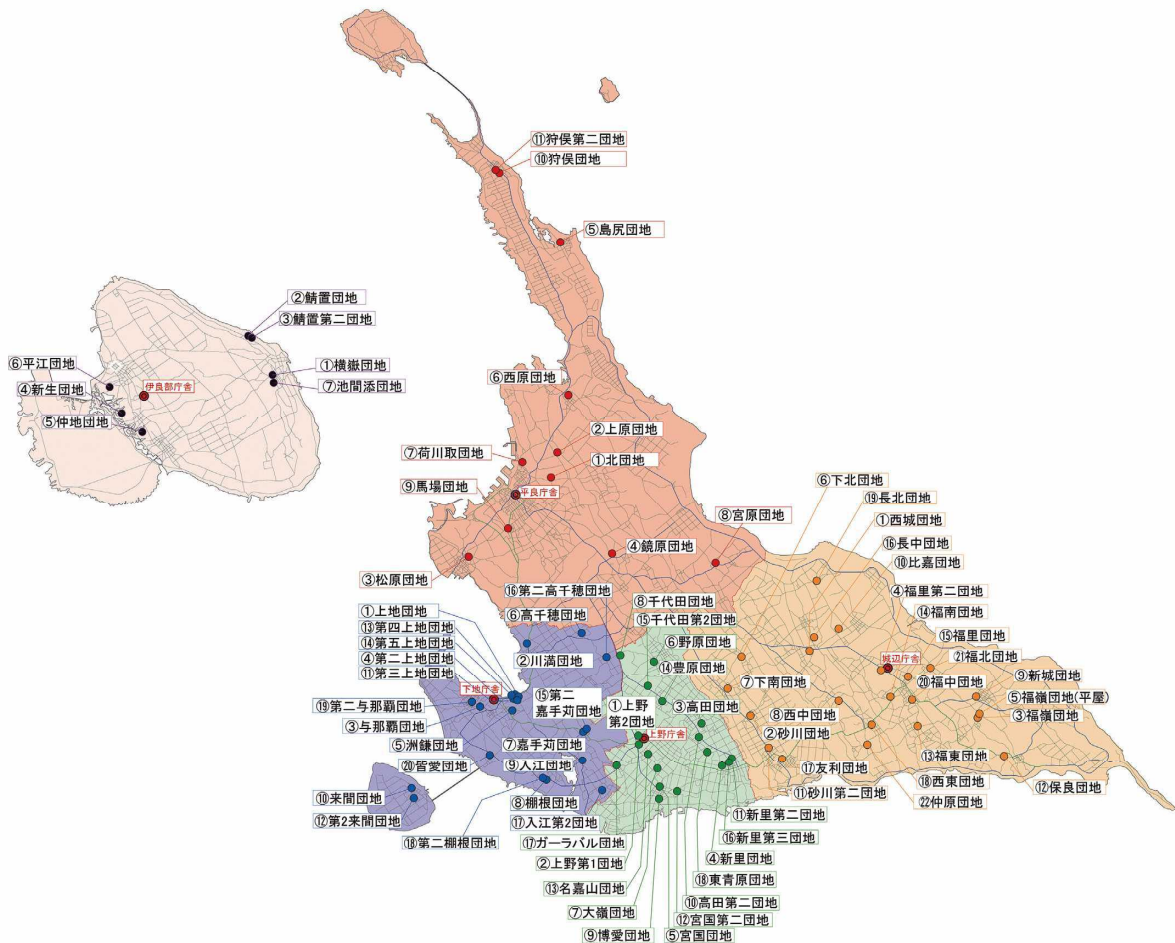
● 目標項目 ●

市営住宅の新耐震設計適合住宅率の向上



● 施策一覧 ●

- ① 市営住宅の計画的な修繕、改善、建替えや長寿命化



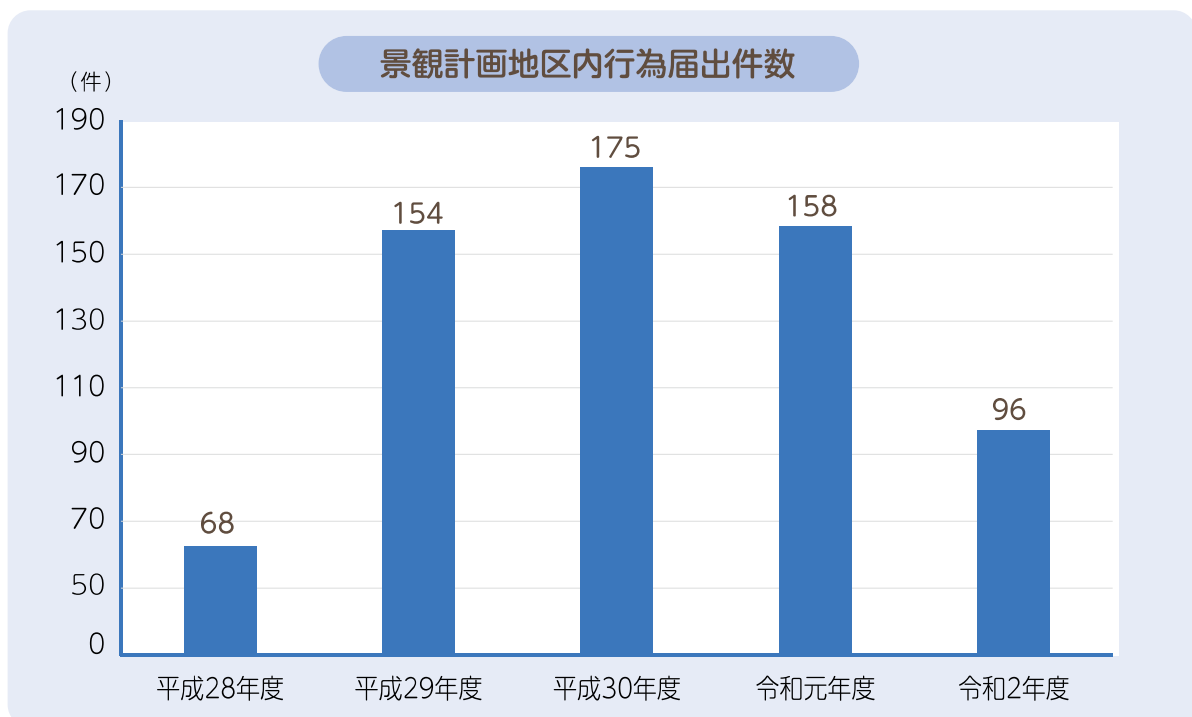
公営住宅の一覧

■ 現状と課題 3

▶本市では、宮古島市バリアフリー基本構想に基づき、高齢者や障がい者が活力ある生活を送れるよう生活環境の向上に取り組んでいます。今後も、高齢化社会への対応に向けた公共施設等のバリアフリー化を進める必要があります。

▶本市では、既成市街地が不形成であることから、幹線道路や生活道路の整備に取り組んでいます。その結果、幅員の狭い道路の交通改善と区画内への住宅や店舗の建設を誘発する効果が現れています。今後も市街化の誘導や市役所における土地利用の推進など、計画的な市街地形成が必要です。

▶リゾートホテルの建設が進められるなど、土地開発が活発となるなか、将来にわたり美しい景観を保全するため、対象となる開発や建設への景観審議会による助言や景観計画の周知などが必要です。



用語解説

宮古島市バリアフリー基本構想

本市における生活関連施設、及び観光施設を中心とした地区での重点的・一体的なバリアフリー化の促進を目指し策定された構想

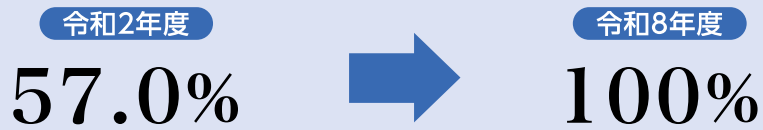


■ 施策の基本方針 1

「宮古島市バリアフリー基本構想」に基づく周知徹底を図りつつ、バリアフリーに関する勉強会を開催します。

● 目標項目 ●

バリアフリー特定事業及びその他事業進捗率の向上（年間）



● 施策一覧 ●

- ①「宮古島市バリアフリー基本構想」に基づく周知徹底を図りつつ、バリアフリーに関する勉強会の開催

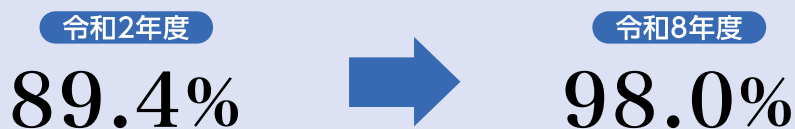


■ 施策の基本方針 2

計画的なまちづくりを進め、より快適な居住空間を形成します。

● 目標項目 ●

区画整理事業の推進



● 施策一覧 ●

- ①土地の区画形成、公共インフラ整備の促進による計画的な市街地形成の誘導
- ②宮古島市役所周辺地区における計画的な土地利用の促進



■ 施策の基本方針 3

景観審議会を開催し、次世代へ継承する島の美しい景観を守るための指導や助言を行います。

● 目標項目 ●

景観区域内行為届出における無届件数

令和2年度

0件



令和8年度

0件

● 施策一覧 ●

- ①「宮古島市景観計画」、「宮古島市景観計画ガイドライン」及び「宮古島市景観条例」の周知徹底
- ②景観審議会の開催による景観形成基準を超える開発や建築計画等への指導や助言



バリアフリー化された道路等

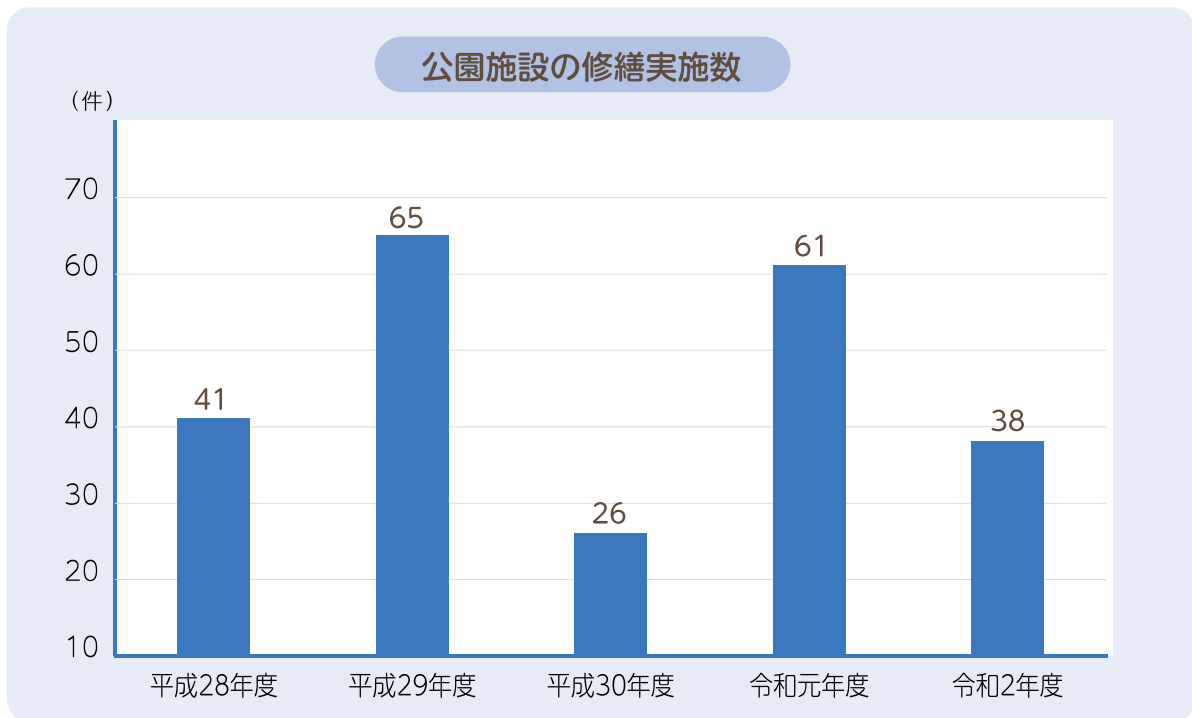


海岸線眺望

■ 現状と課題 4

▶本市には各地域に公園が整備されており、多くの市民の憩いの場や、災害時の避難場所となる役割を担っています。一方で、老朽化している公園施設が増加傾向にあることから、効率的な公園の維持管理に取り組む必要があります。

▶本市では、県営宮古広域公園の整備に向けて県と連携して取り組んでおり、令和2年度には都市計画決定および国の事業認可を受けるなど整備が進められています。今後も広域公園の早期整備に向けて取り組む必要があります。



東平安名崎公園



イムギャーマリンガーデン



■ 施策の基本方針 1

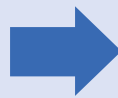
多くの市民が集い楽しめる空間の形成に向けて、市民と協働して効率的な公園の維持管理を図ります。

●目標項目●

公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の修繕・更新の推進

令和2年度

0%



令和8年度

50%

●施策一覧●

- ①公園施設の効率的な維持管理
- ②公園施設長寿命化計画に基づいた公園施設の更新



■ 施策の基本方針 2

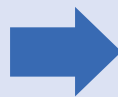
宮古広域公園の早期整備の実現を促進します。

●目標項目●

宮古広域公園の早期実現の促進

令和2年度

未着工



令和8年度

着工

●施策一覧●

- ①スポーツ施設とレクリエーション機能を備えた県営広域公園の早期整備の促進

■ 現状と課題 5

▶本市においては、市街地周辺や畑地および宅地等に個人墓地が点在し、大部分が無許可墓地となっています。今後は墓地の最適な管理に向けた情報収集や集約化に向けて取り組む必要があります。

■ 施策の基本方針



各地区の集落墓地の検討を進めるなど、各自治会における墓地の最適な管理と集約化を図ります。

● 目標項目 ●

新たな墓地基本計画の策定



● 施策一覧 ●

- ①地域住民へのアンケートや説明会による情報集約及び周知徹底
- ②各関係機関との連携による地区別集落墓地の整備への促進

5-2 上・下水道

■ 現状と課題

▶本市では、地下水保全条例に基づき水道水源保全地域を指定しており、ニヤーツ水源地がある平良地下水流域の一部及び白川田地下水流域の南側について、新たに水道水源保全地域へ指定しました。唯一の淡水資源である地下水の保全は、持続可能な社会を構築するための重要なものであり、今後も水道水源保全協定の締結や、市民及び事業者への周知と情報共有が必要です。

■ 施策の基本方針



地下水保全条例に基づき、新たに水道水源保全地域に指定された平良流域について、地下水保全を図るため、水道水源保全協定の締結を推進します。

● 目標項目 ●

水道水源保全協定締結数

令和2年度

31件



令和8年度

80件

● 施策一覧 ●

- ①水道水源保全地域に立地する対象事業場との協定締結の推進
- ②水道水源保全地域に関する市民及び事業者への周知
- ③地下水保全条例に基づく、関係機関との情報共有

■ 現状と課題 2

▶本市の水道普及率は99.9%であり、ほとんどの市民が利用しています。安全な水道水を安定的に供給するため、有収率の向上と災害に強い水道施設の整備を推進していますが、配水管の老朽化による漏水が多く、その対策として改良工事や技術者の育成が必要となっています。また、本市の水需要は、新型コロナウイルス感染症収束後における観光客の増加や大型クルーズ客船の受入などにより、更なる増加が見込まれます。そのため、伸びゆく水需要に対応出来る水道施設の強化とともに計画的な水質検査の実施が必要です。

■ 施策の基本方針



安全で良質な水を供給するため、計画的な水質検査の実施、水道施設の整備及び漏水対策を図ることで、施設機能強化と有収率の向上に努めます。

● 目標項目 ●

有収率の向上

令和2年度 **85.2%** → 令和8年度 **91.0%**

● 施策一覧 ●

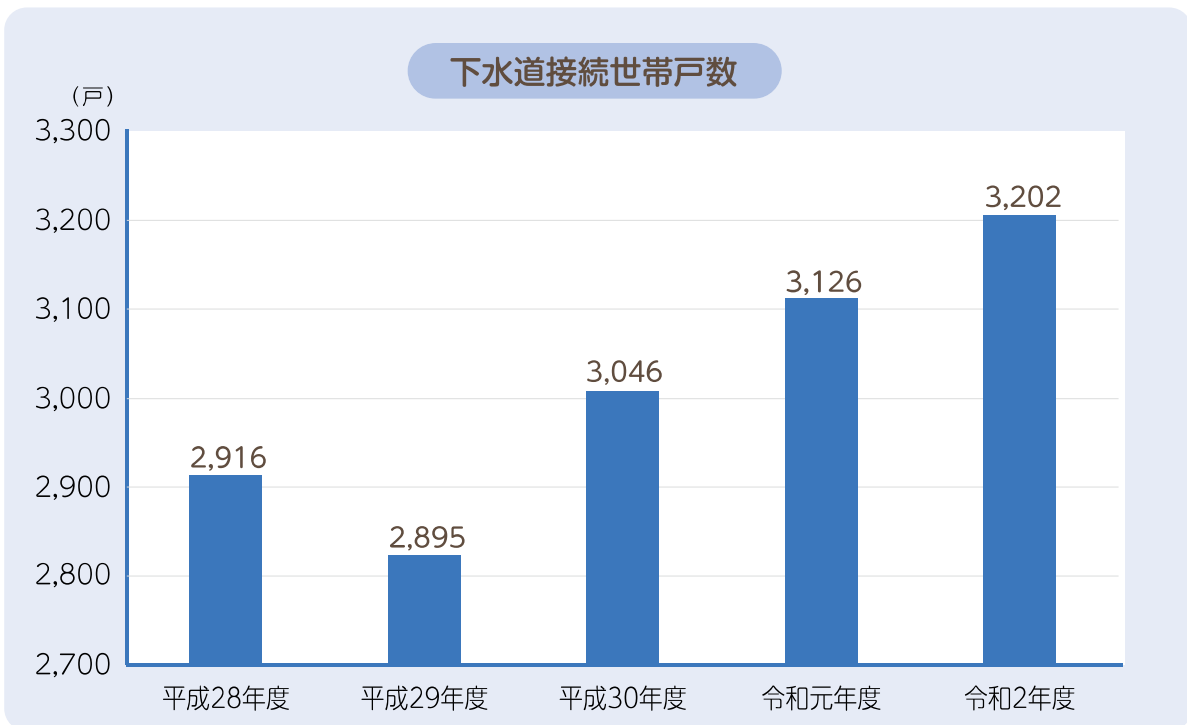
- ①水道施設の定期的な更新と、水質検査の実施
- ②漏水対策の強化による有収率の向上
- ③水需要の増加や災害に対応可能な水道施設の整備
- ④水道技術者の育成強化

用語解説

有収率 給水する水量と料金として収入のあった水量との比較

■ 現状と課題 3

▶本市では、生活排水対策のため、公共下水道事業や農漁業集落排水事業に取り組んでいますが、整備状況に対し加入率が低い状況にあります。今後も下水道整備事業の推進と併せて、加入率向上の取り組みを進め、生活排水対策を実施していく必要があります。



下水道が整備されたら



下水道普及のパンフレット

■ 施策の基本方針



自然環境の保全や生活環境の改善に関わる、下水道の整備を推進します。

● 目標項目 ●

下水道接続世帯戸数



● 施策一覧 ●

- ①【再掲】生活環境の確保を目指した下水道への加入促進
- ②下水道施設の予防保全に向けた管理
- ③未普及地域の整備や地域特性に応じた整備の推進
- ④雨水整備の優先度の高い地域を中心とした浸水対策の推進

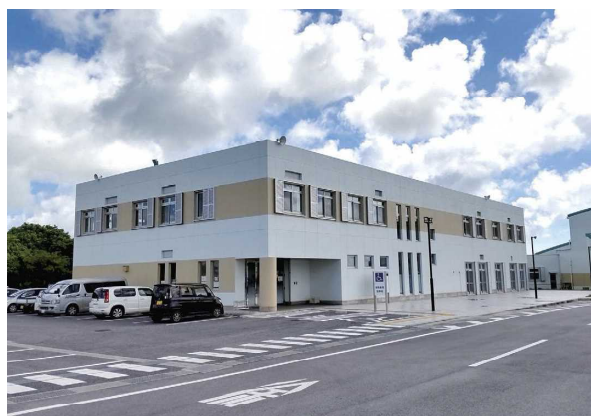
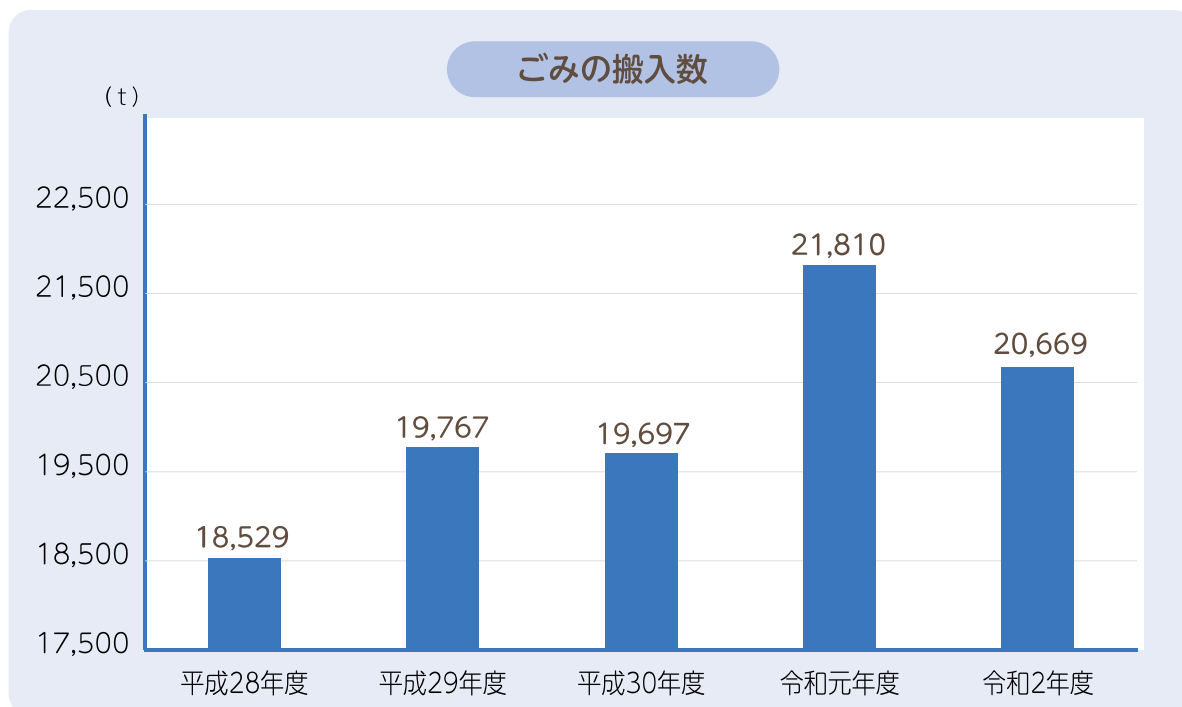


宮古島市浄化センター 完成予想図

5-3 ごみ処理

■ 現状と課題

▶本市では、令和2年にクリーンセンタープラザ棟を整備し、再資源化を含めたごみの減量を推進しています。今後は、プラザ棟の利活用を促進し、再資源化に向けた取り組みやごみの分別方法の見直し等による市民の意識向上に取り組む必要があります。



クリーンセンタープラザ棟



パッチワークなどによる古着のリメイク



■ 施策の基本方針

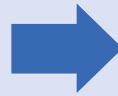
ごみの再資源化及び減量化を推進します。

● 目標項目 ●

ごみのリサイクル率の向上

令和2年度

14%



令和8年度

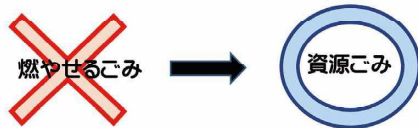
22%

● 施策一覧 ●

- ①ごみの分別収集の推進及び収集方法の効率化
- ②ごみの分別徹底や再資源化、減量化に向けた市民の意識向上

3週間 ごみダイエットチャレンジ

あなたの家庭はごみの分別をどこまでやっていますか？「混ぜればごみ分ければ資源」という言葉があります。ごみの出し方を変えることでごみを減らすことができます。燃やせるごみ袋の中に、資源ごみで出せるものは入っていませんか？



3週間(燃やせるゴミの日 9日分)ごみの重さの記録をとりながら、燃やせるごみと資源ごみの分別に取り組んでみて下さい。買い物の仕方工夫して、食品ロスを減らすことも効果的です。

燃やせるごみを出す前に、ごみ袋の中身をチェック！！

- ・たくさん入っているのはどんなゴミ？
- ・資源ごみに分類できるものは入っていないかな？
- ・買い物時に減らす工夫ができたものはないかな？
- ・ごみが多い日、少ない日はどんな理由が考えられるかな？

燃やせるごみのはかり方

- ① 吊りバネばかりのスイッチをオン！ハンドル部分を手で持ちます(ばかり本体をつり下げるところがあればより計りやすいです)
- ② 0gの表示を確認してから、ゴミ袋をかけます。
- ③ ビツと音がして、lockの表示が出たら、その数字が重さです。
- ④ OFFを2回押して電源を切ります。

※一度計り忘れてもあきらめないで。次に計って記入しましょう！！

MEMO

工夫したことやアイデア、気づいたことや考えたことなどを記録しておこう！

1週間ごと(3回分)のごみの量を合計します。

1週間目のごみの量	_____g
2週間目のごみの量	_____g
3週間目のごみの量	_____g

3週間目-1週間目= + g

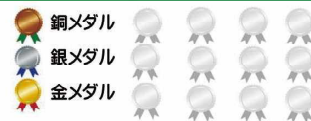
結果がマイナスだった人が1年間続ければ...

× 52(週) = g

1年でこれだけのごみを減らす可能性があります！



獲得したメダルの数



総合結果



大成功 ★★★★★ 成功★★★★★

頑張った ★★★ 変化なし★★ 失敗★

※メダルと☆に色を塗ってね♪

ごみダイエットチャレンジ 記入様式

6

利便性の高い情報通信技術の活用

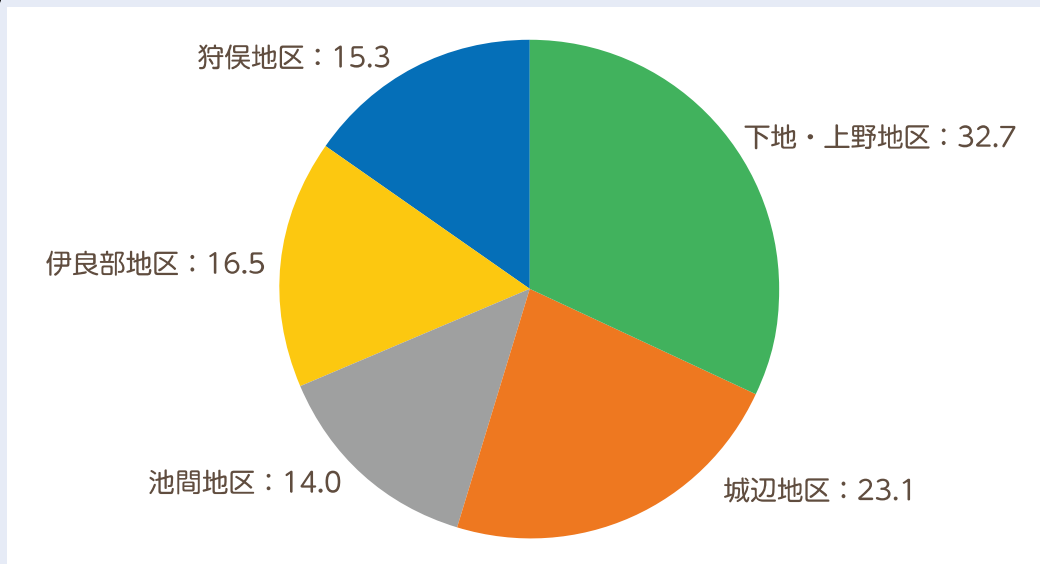


■ 現状と課題

▶国における「デジタル庁」発足や自治体DX（自治体デジタルトランスフォーメーション）による行政手続きのオンライン化、新型コロナウイルス感染症によるテレワークの進展など、生活・仕事の様々な場所において、ICTの活用がより一層進んでおり、市民が求めるサービスも多様化しています。そのため、本市においてもデジタル技術を活用した市民サービスの利便性向上やICT環境の整備を推進する必要があります。

超高速情報通信網における回線加入率

(%)



令和2年度末時点

用語
解説

自治体DX

デジタル技術やデータを活用し、業務効率化や行政サービスの改善を進めながら、住民の利便性向上を目指す取組
DX=デジタルトランスフォーメーションの略



■ 施策の基本方針

社会変化に柔軟に対応し、市民サービスの利便性を高めるため、積極的に ICT 環境の整備に取り組みます。

● 目標項目 ●

行政手続きのオンライン化件数

令和2年度

0件



令和8年度

26件

● 施策一覧 ●

- ① 市民サービスの向上に向けた、行政手続きオンライン化によるシステム環境の整備
- ② 情報化推進計画に沿った、社会変化に対応した最適な情報通信環境の整備



ICT を活用した授業風景



宮古島 ICT 交流センター活用の様子



消防出初式